# I

# みなと
# 再生委員会

**2007.2**
↓
**2008.2**

**2007.2**
↓
**2008.2**

## 1

### 第１回みなと再生委員会　平成１９年２月２１日

・公募委員５名を含む２０名の委員、６名のオブザーバーにてみなと再生委員会は始まる。
・みなと再生委員会委員長　ユニバーサルデザイン研究所所長　赤池　学
・平成１８年度に市の庁内プロジェクトで検討された「みなと再生構想」について説明を行うと同時に、今後の委員会の運営方法等に関して意見交換を行った。

## 2

### 第２回みなと再生委員会　平成１９年４月１３日

・サッカー元日本代表監督　岡田武史　出席。　海外での公共空間の重要性について語る
・太田浩史在外委員から「建築と公共空間によるまちづくり」の海外事例として、ニューキャッスルなどの都市開発事例が紹介された。

## 3

### 第３回みなと再生委員会　平成１９年５月１８日

・各委員から提出されたアイデアシートをもとにコンテンツマップを作成
↓
港に欲しいコンテンツ・機能
「公園・広場」「商業施設」「交流施設」「イベント・情報発信」

## 4

### 第４回みなと再生委員会　平成１９年７月１３日

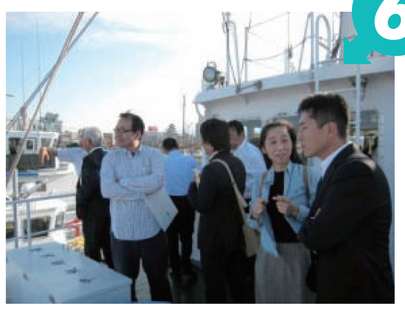
・基本コンセプトを「交通の港から交流の港へ」と決定
・「海事」「文化・アート」「マーケット」の三つの交流機能を整備することを骨子とした構想案を提示し、意見交換を行った。
・ハレの場を考えるだけでなく、日常的な賑わいを創造する視点も重要だとの意見が出された。

## 5

### 第５回みなと再生委員会　平成１９年８月３日

・前回に委員から質問のあった中心市街地の現況に関する調査や、みなとの整備に関連する都市計画関連法規等について市から説明。
・具体的な施設配置を検討するため、類似事例のスケール比較等を検討。
・太田在外委員会から、ニューキャッスルでの「シビックプライド」の育成について説明があった。

## 6



### 第６回みなと再生委員会　平成１９年１０月１２日

・海事ビジネスセンター、沖洲の丘公園、交通ターミナル、今治シビックプライドセンター（ＩＣＰＣ）を核とした機能配置の案が提案される。
・委員からは同案について賛同する意見が多く、特にシビックプライドセンターの重要性について、多くの意見があった。本提案の機能をもとに、具体的な施設配置案を検討していくことを確認した。

## 7

### 第７回みなと再生委員会　平成１９年１１月１６日

・ＩＣＰＣ（今治シビックプライドセンター）について、海外・国内事例説明
・ＩＣＰＣについては、今治にとってぜひとも必要なものとの意見が多く出され、海事ビジネスセンターとＩＣＰＣを中核的な施設としながら、みなと再生構想をつくりあげること、またＩＣＰＣはハードの整備に先立って活動をスタートさせていくべきことなどを確認した。

## 8

### 第８回みなと再生委員会　平成２０年１月１８日

・前回までの協議内容を受け取りまとめた、「みなと再生構想」（案）について事務局より説明を行い、各委員から新たに盛り込むべき視点や、修正点について意見が出された。

## 9

### 第９回みなと再生委員会　平成２０年２月２２日

・みなと再生委員会で決定された「みなと再生構想」を越智忍前今治市長に答申
・委員会終了後、次年度から取り組むＩＣＰＣの意見交換会を開催